# 中心市街地活性化プランのフォローアップについて

資料１

令和５年度の長野市中心市街地活性化プラン（平成29年10月～令和7年3月）のフォローアップは、次期中心市街地活性化基本計画の策定を見据え、第二期中心市街地活性化基本計画（平成24年4月～平成29年3月）の基本的な方針に基づく目標の達成度を測る指標として定められた指標数値を第一期計画の始期から把握し（右グラフ）、以下に各目標指標値の達成状況を確認するとともに、それらの数値の経年推移もみながら、まとめと考察を行った。

## （１）基本的な方針と目標及び目標指標

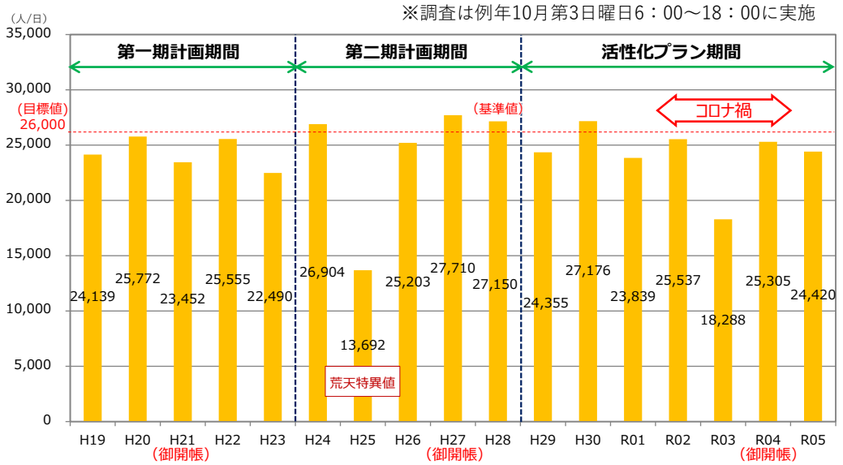
| 基本的な方針 | 目標 | | 目標指標 |
|---|---|---|---|
| | 第二期計画 | 活性化プラン | |
| ① **まちなか観光の推進** | 目標１<br>訪れたくなるまち | **目標１<br>行きたくなるまち** | **（指標１）<br>善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量（人/日）** |
| ② **まちなか居住の促進** | 目標２<br>住みたくなるまち | **目標２<br>住みたくなるまち** | **（指標２）<br>総人口に対する中心市街地の人口比率（%）** |
| ③ **歩いて暮らせるまち** | 目標３<br>歩きたくなるまち | **目標３<br>巡りたくなるまち** | **（指標３-①）<br>中心市街地(６地点)の歩行者・自転車通行量（人/日）** |
| | | | **（指標３-②）<br>中央通り及び権堂アーケード沿い１階部分の空き店舗（件）** |
| ④ **多様な主体の参加** | 目標４<br>参加したくなるまち | **目標４<br>交わりたくなるまち** | **（指標４）<br>もんぜんぷら座及び生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民流センターの利用者数（人/年）** |

## （２）活性化プランの各目標指標値の達成状況

| 目標指標（単位） | 基準値（H28） | 目標値（R06） | 実績値（R05） | 達成状況（R05） |
|---|---|---|---|---|
| 指標1（人/日） | 27,150 | 26,000 | 24,420 | 未達成 |
| 指標2（%） | 2.47 | 2.65 | 2.56 | 未達成 |
| 指標3-①（人/日） | 112,504 | 108,000 | 90,111 | 未達成 |
| 指標3-②（件） | 21 | 21 | 15 | 達成 |
| 指標4（人/年） | 560,735 | 550,000 | 326,001 | 未達成 |

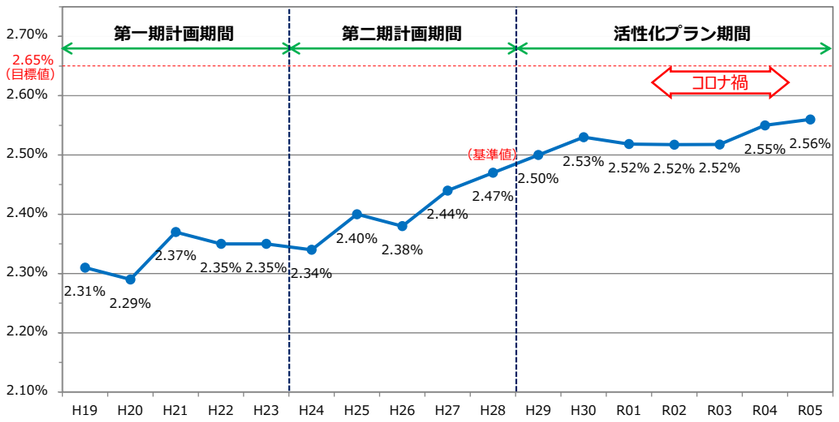
### 指標1：善光寺仁王門前の歩行者・自転車交通量

※調査は例年10月第3日曜日6：00～18：00に実施




・コロナ禍で令和３年は大きく減少しているが、令和２年は政府の観光促進事業（GoToトラベル）の効果、また、令和４年は、御開帳による自粛ムードが緩和されたことにより、例年と同水準の歩行者数となっている。

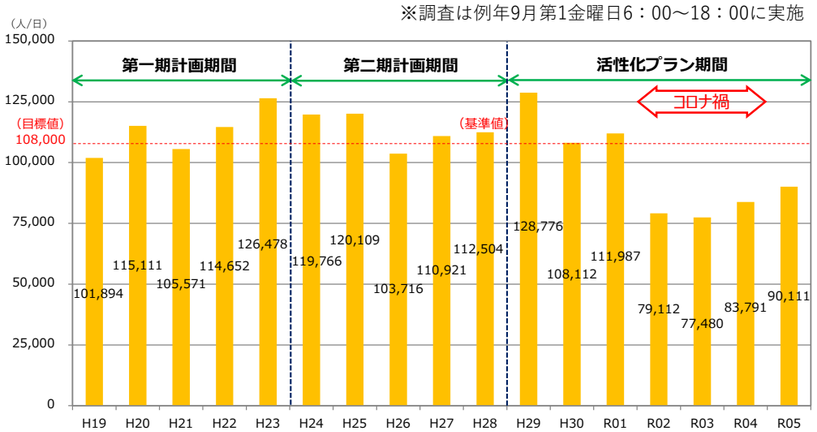
### 指標2：総人口に対する中心市街地の人口比率




・中心市街地の人口比率が増加傾向にあるのは、中心市街地において毎年１～２件の中高層マンションが整備されていることが要因と考えられる。

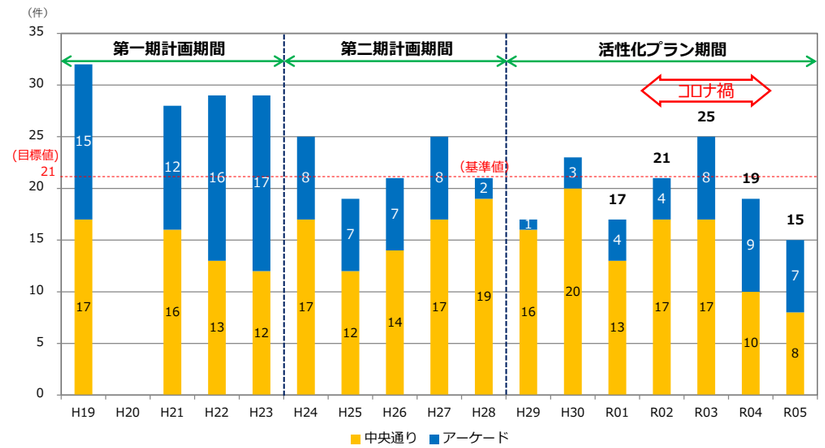
### 指標3-①：中心市街地6地点の歩行者・自転車交通量

※調査は例年9月第1金曜日6：00～18：00に実施




・コロナ禍により令和２年に激減し、令和３年以降は回復の兆しがみられるものの、コロナ禍前の水準には達していない。
・コロナ禍を経て、リモートワークの普及による通勤者の減少が要因の一つと考えられる。

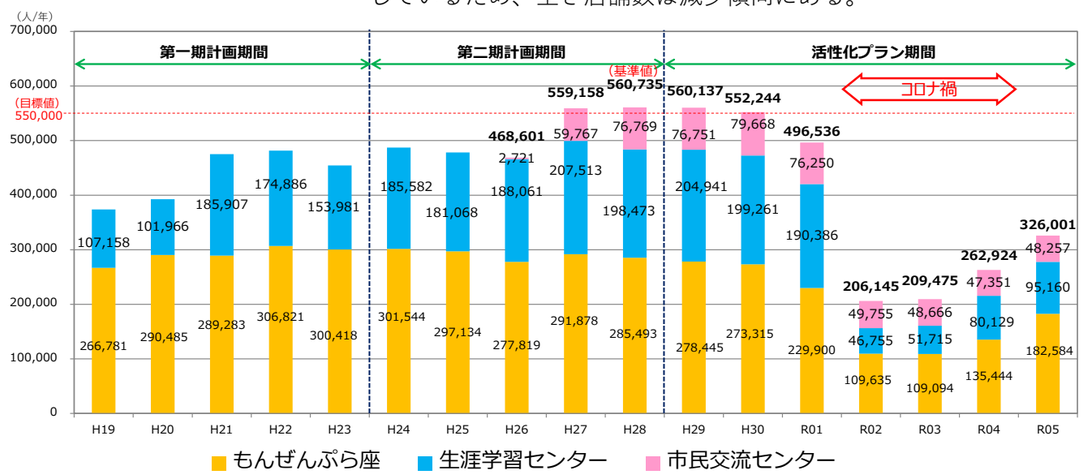
### 指標3-②：中央通り及び権堂ｱｰｹｰﾄﾞ沿い1階部分空き店舗件数




・平成29年と比べてアーケードについては増加しているが、中央通りは減少している。
・コロナ禍で空き店舗数は増加したが、飲食店などの新規出店数が増加しているため、空き店舗数は減少傾向にある。

### 指標4：もんぜんぷら座、生涯学習センター、権堂イーストプラザ市民交流センターの利用者数

・コロナ禍で令和２年に激減し、令和3年以降は回復の兆しはみられるものの、コロナ禍前の水準には達していない。

・コロナ禍からの利用者数の状況をみると、■もんぜんぷら座と■生涯学習センターは利用制限の解除により増加傾向にあるが、■市民交流センターは令和2年以降ほぼ横ばいで、回復の兆しはみられない。

・利用者数停滞の要因の一つとして、コロナ禍以降Zoom等のオンラインツールの普及により、大人数によるセミナーや会議での利用の減少や人々の行動の変容が要因と考えられる。